

医学研究実施のお知らせ

埼玉医科大学病院 IRB（臨床研究における倫理審査を行う委員会）の審査を受け、以下の研究を実施しております。

研究の対象となる方（または代理人の方）で、この研究計画について詳しくお知りになりたい場合、又はこの研究に試料や情報を利用することをご了承いただけない場合は、下記【問い合わせ先】へご照会ください。2023年12月31日までにご連絡をお願い致します。この期日を超過した場合、あなたの情報を削除できない可能性が発生します。あらかじめご了承下さい。

【研究課題名】 SGA 性低身長症への成長ホルモン治療におけるインスリン感受性と糖処理能、体組成の改善ならびに思春期発来時期についての検討

【研究の概要】

研究の目的

出生週数相当より身長ならびに体重が小さく生まれた児（Small for gestational age = SGA）は2型糖尿病の発症などの生活習慣病への進展リスクが報告されています。また SGA のお子さんの 10% は 3 歳以降も低身長のままで経過します（SGA 性低身長症）。SGA 性低身長症に対しては、成長ホルモン（GH）治療が行われており、身長予後や体組成の改善が報告されています。

GH はインスリンが効きにくくなる作用を持つホルモンであり、治療開始による血糖値の悪化にモニタリングが必要であるとされている。また、SGA 性低身長症では思春期発来時期が一般健常児と比較し早発傾向であることが報告されています。思春期発来が早期発来である場合には、最終身長に対して負の影響をもたらす可能性があります。

以上のことから、SGA 性低身長症での GH 治療の経過、血糖値、血糖や思春期に関連するホルモンなどの推移を細かく振り返り分析することで、将来の生活習慣病への進展リスクなどを見出すことが可能となり、治療管理の方法を改善させられることが期待できます。

研究期間

承認日 ~ 2025 年 3 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。

対象となる方等

調査対象となる期間：2008 年 10 月 1 日 ~ 2021 年 8 月 19 日

対象となる患者さん：2008 年 10 月 1 日 ~ 2021 年 8 月 19 日までに SGA 性低身長症の診断で GH 治療開始された方

対象となる患者さんの数：65 例

研究に利用する試料、情報等

臨床経過（年齢、性別、身長、体重、糖尿病の有無、在胎週数、出生時体格など）、治療における成長ホルモン使用量や併用薬ならびに通常保険診療内で実施された OGTT や LH-RH 負荷試験を含めた採血での血糖値やインスリン値（Insulinogenic index、Matsuda index を利用した Whole-body insulin sensitivity index、Glucose disposition index での評価）

各種ホルモン値（ソマトメジン C、HbA1c、LH、FSH、甲状腺刺激ホルモン、Free T3、Free T4、テストステロン、エストラジオール、脂質パラメータなど）、手根骨単純 X 線検査（骨年齢）・骨塩定量検

HP 掲載用（単施設研究）

査（DEXA 法による体組成情報を含む）。

（該当する場合のみ）他の機関（検査会社等含む）へ試料や情報等を提供する場合
他の機関への試料や情報の提供はありません。

【問い合わせ先（対応時間：平日 9：00 ～ 17：00）】

埼玉医科大学病院 小児科

研究責任者：武者 育麻 電話：049-276-1218

利用する情報等からは、氏名、住所、電話番号など、個人を特定できる情報は削除致します。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用致しません。